

ツクリヒト

tsukuruhito

one's style & inspiration for designing

榎忠 [美術家]

祝砲を撃つ男

1960年代より、センセーショナルな活動を続ける美術家、榎忠さん。その活動は、68歳になった今も衰えるどころか、ますます刺激を強めている。美しい金属製のオブジェと、人の心をざわつかせるパフォーマンス。「榎忠」とはいったい何者か。東京での個展の開催を目前にした6月下旬、榎さんに話を聞いた。

榎忠(えのき・ちゅう)
1944年、香川県生まれ。神戸在住。1965年ころより本格的に作家活動を開始し、70年「グループ JAPAN KOBE ZERO」を結成。神戸を中心に数々のパフォーマンスを行う。近年は、鉄の廃材や金属部品から生み出される巨大な機械彫刻やオブジェ、インスタレーションを制作。06年に大阪のKPOキリンプラザにて大規模な個展を開催し、以降、07年の豊田市美術館での藤原野司男との二人展、同年の森美術館「六本木クロッシング 2007: 未来への脈動」展、08年の札幌宮の森美術館での「この男、危険」展、11年の兵庫県立美術館での「榎忠展 美術館を野生化する」、森精機(株)のテレビCMの制作など、現在も精力的に活動を展開している。
<http://chuenoki.com/>

取材・文:小泉森弥
撮影:川瀬一絵(ゆかい)

